

Ⅲ 救急・救助

第 1 救急活動の概況

1 救急業務実施体制

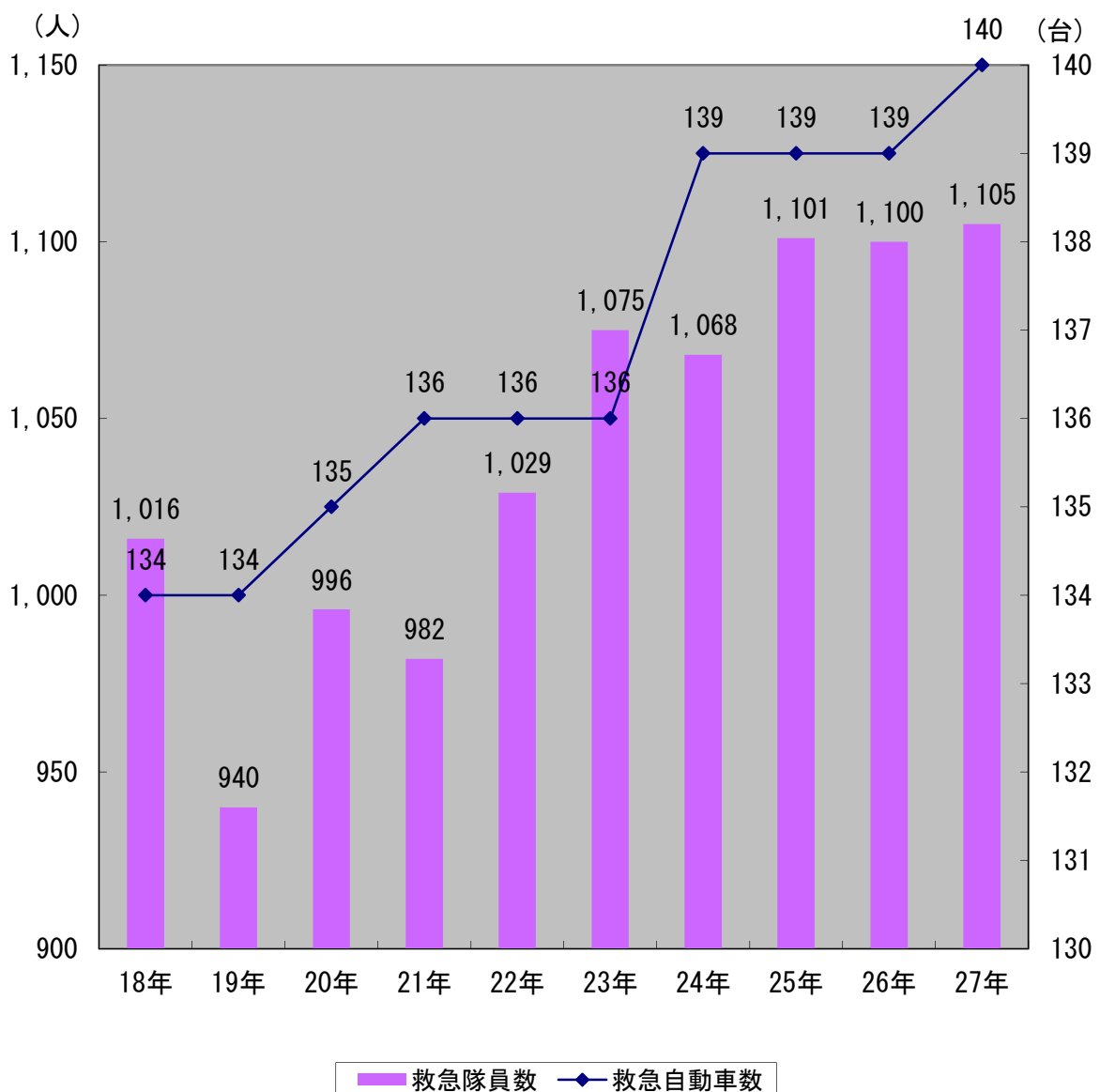
平成27年4月1日において救急業務を実施している市町村は41市町村で、県人口の99.9%がカバーされている。

救急自動車の保有台数は140台、救急隊員は1,105人（専任303人，兼任802人）で、前年に比べ救急隊員は5人増加している。また、救急告示医療機関は96機関，その他医療機関は1,440機関となっている。

平成3年8月にプレホスピタル・ケア充実の一環として、救急隊員の行う応急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行うための新たな国家資格制度として救急救命士制度が導入され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。

平成27年4月1日現在、県内全消防本部で救急救命士を運用（一部運用を含む）しており、資格者合計554名のうち471名が救急業務に従事している。

図 1 過去10年間の救急自動車及び救急隊員数の推移（各年4月1日現在）



2 救急業務実施状況

(1) 概要

平成26年中における救急出動件数は77,549件、搬送人員は71,822人で、いずれも過去最多となった。

また、これを昨年と比べると救急出動件数は1,384件（1.8%）の増加、搬送人員は1,015人（1.4%）の増加となっている。

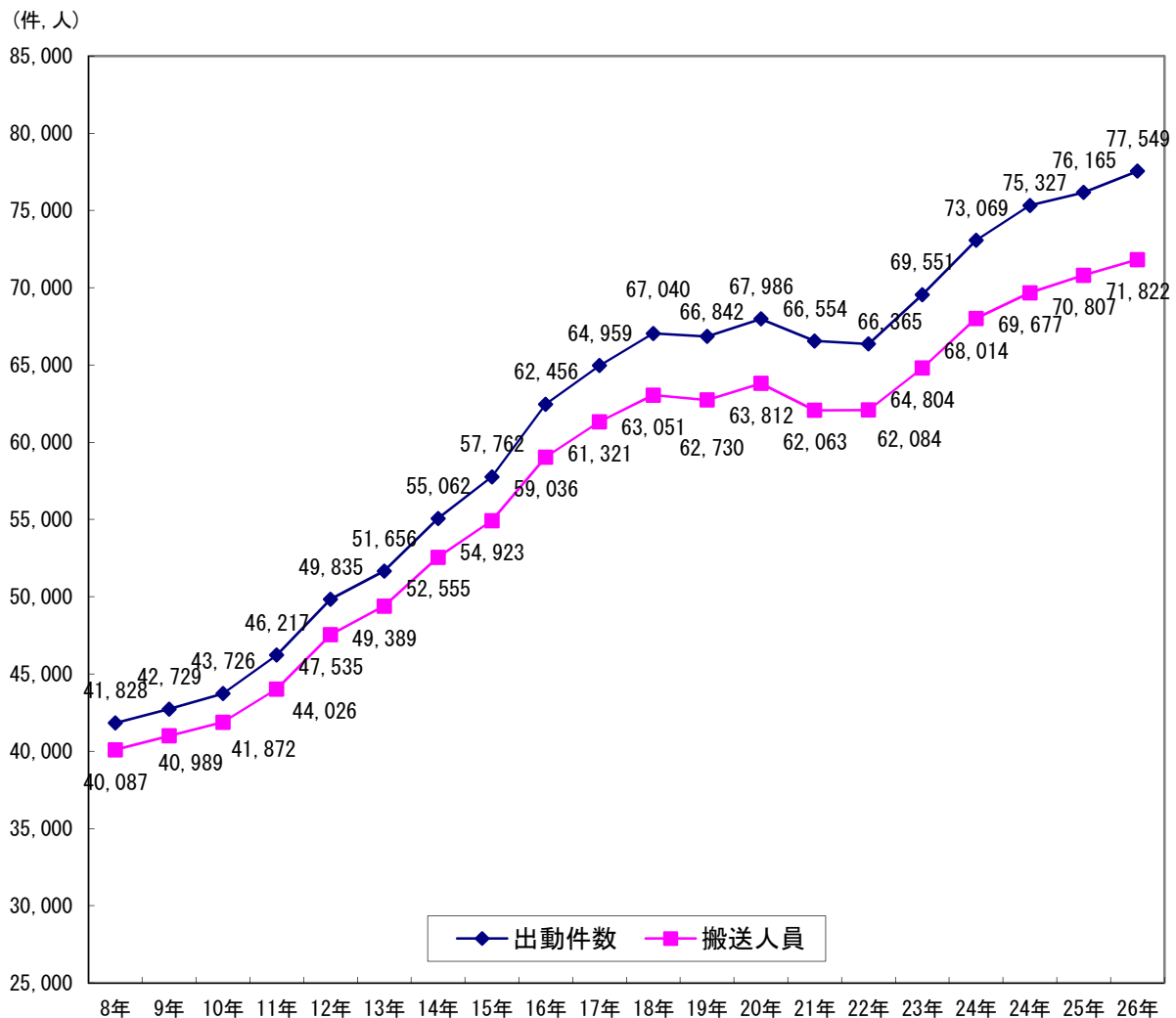
これは、1日平均212.5件（前年208.7件）、約6.8分に1回の割合で救急隊が出動し、また1日平均196.8人（前年194.0人）、約7.3分に1人の割合で搬送されている。

事故種別救急出動件数は、前年と同じく1位が急病で45,266件（全体の58.4%）、次いで、一般負傷10,608件（同13.7%）、交通事故が6,066件（同7.8%）となっている。

なお、搬送人員については、救急出動件数と同様、1位が急病で41,628人（全体の58.0%）、次いで、一般負傷が9,917人（同13.8%）、交通事故が6,046人（同8.4%）となり、上位3位までで全体の約80.2%を占めている。

過去20年間の県内救急活動の推移は下図のとおりであり、これまで増加の一途をたどっていた搬送人員・出動件数は、平成17年からほぼ横ばいとなっていたが、平成22年から再び増加に転じている。

図2 過去20年間の救急出動件数、搬送人員の推移



(2) 事故種別，傷病程度別及び年齢区分別搬送人員の状況

表1 事故種別出動件数及び搬送人員の状況

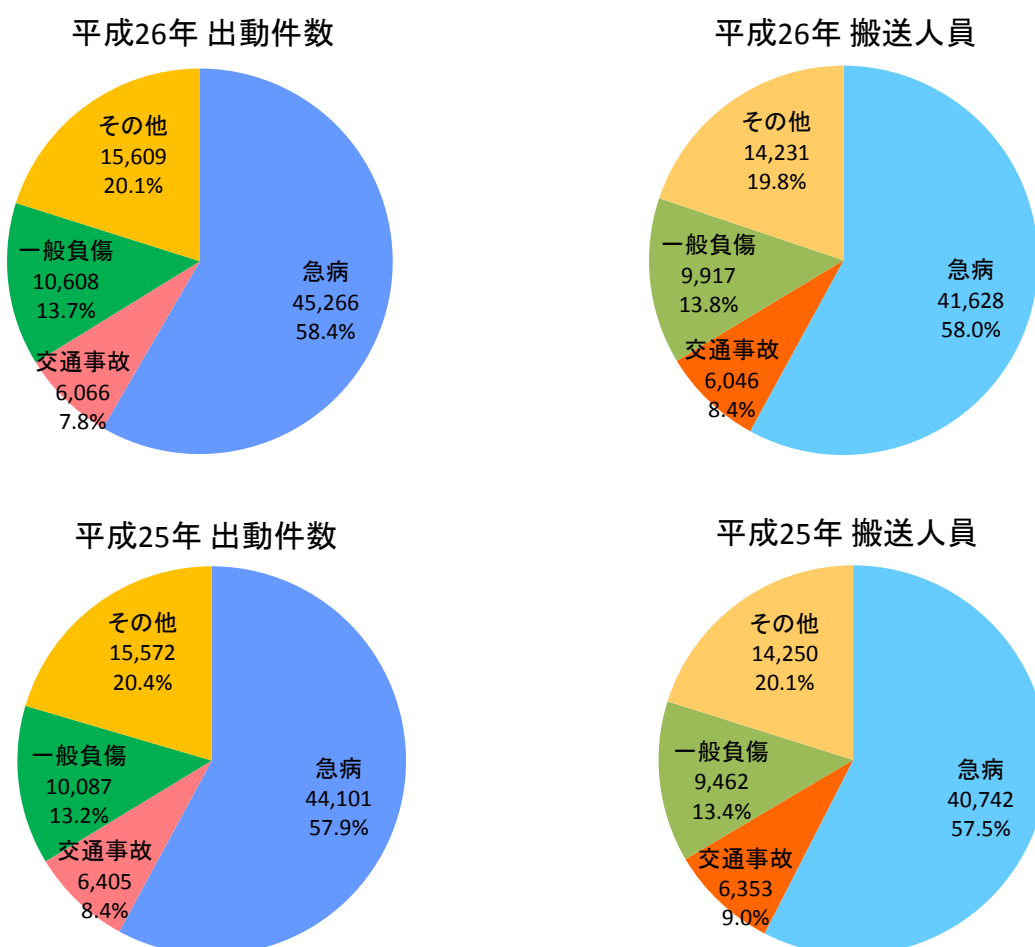
(単位：件，人，%)

区分		計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
		計	構成比	急病	構成比	交通事故	構成比	一般負傷	構成比	その他	構成比
平成26年	出動件数	77,549	100.0	45,266	58.4	6,066	7.8	10,608	13.7	15,609	20.1
	搬送人員	71,822	100.0	41,628	58.0	6,046	8.4	9,917	13.8	14,231	19.8
平成25年	出動件数	76,165	100.0	44,101	57.9	6,405	8.4	10,087	13.2	15,572	20.4
	搬送人員	70,087	100.0	40,742	58.1	6,353	9.1	9,462	13.5	14,250	20.3
増減	出動件数	1,384	—	1,165	—	△ 339	—	521	—	37	—
	搬送人員	1,735	—	886	—	△ 307	—	455	—	△ 19	—

(注) その他は，火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他（転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他）を示す。

図3

(単位：件，人，%)



ア 年齢別搬送人員

搬送人員の年齢別事故種別をみると、高齢者、成人、乳幼児では、急病が半数を超える高い率を占めており、少年では他の年齢に比べ、交通事故が比較的高い比率を占めている。

表2 年齢別搬送人員の状況

(単位：人，%)

区分	計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
	計	構成比	急病	構成比	交通事故	構成比	一般負傷	構成比	その他	構成比
新生児	158	100.0	20	12.7	0	0.0	2	1.3	136	86.1
乳幼児	2,595	100.0	1,564	60.3	187	7.2	599	23.1	245	9.4
少年	2,308	100.0	820	35.5	589	25.5	334	14.5	565	24.5
成人	23,195	100.0	12,860	55.4	3,623	15.6	2,108	9.1	4,604	19.8
高齢者	43,566	100.0	26,364	60.5	1,647	3.8	6,874	15.8	8,681	19.9
計 計	71,822	100.0	41,628	58.0	6,046	8.4	9,917	13.8	14,231	19.8

(注) 新生児：生後28日未満の者

乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

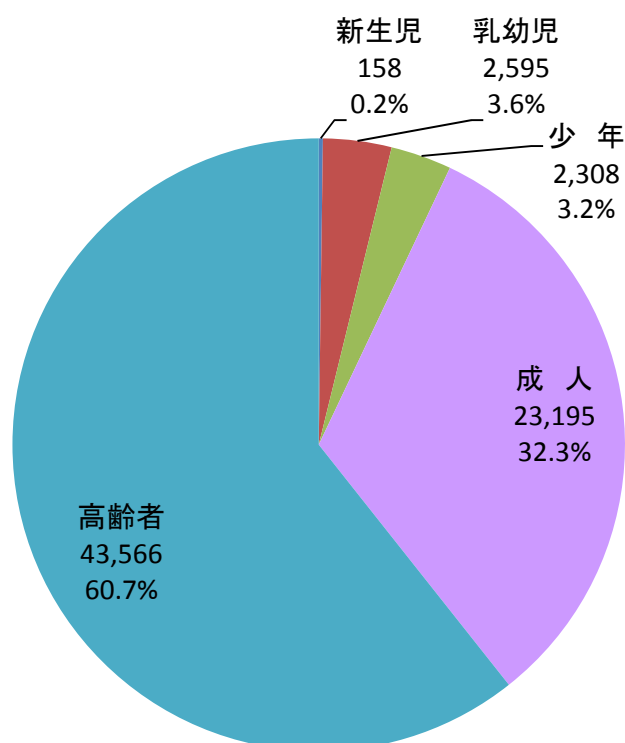
成人：満18歳以上満65歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

(注) その他は、火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他（転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他）を示す。

(注) 構成比：搬送理由/年齢区分別搬送人員

図 4



イ 傷病程度別搬送人員

平成26年中における搬送人員は71,822人であるが、これを傷病程度別にみると、軽症、中等症の両者で全体の86.4%を占めている。

表3 傷病程度別搬送人員の状況（事故種別）

（単位：人，％）

区分	合計		死亡	構成比	重症		中等症		軽症		その他	構成比
	合計	構成比			重症	構成比	中等症	構成比	軽症	構成比		
火災	74	100.0	2	2.7	14	18.9	31	41.9	27	36.5		
自然災害	14	100.0			5	35.7	5	35.7	4	28.6		
水難	51	100.0	10	19.6	19	37.3	13	25.5	9	17.6		
交通事故	6,046	100.0	25	0.4	370	6.1	1,768	29.2	3,881	64.2	2	0.0
労働災害	588	100.0	6	1.0	106	18.0	273	46.4	203	34.5		
運動競技	533	100.0			21	3.9	174	32.6	338	63.4		
一般負傷	9,917	100.0	59	0.6	1,053	10.6	4,476	45.1	4,327	43.6	2	0.0
加害	239	100.0			5	2.1	70	29.3	164	68.6		
自損行為	528	100.0	42	8.0	121	22.9	239	45.3	126	23.9		
急病	41,628	100.0	464	1.1	3,944	9.5	22,178	53.3	15,035	36.1	7	0.0
その他	12,204	100.0	14	0.1	3,509	28.8	8,231	67.4	442	3.6	8	0.1
計	71,822	100.0	622	0.9	9,167	12.8	37,458	52.2	24,556	34.2	19	0.0

- ※ 死亡：初診時において、死亡が確認されたもの
- 重症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 軽症：傷病の程度が入院を必要としないもの
- その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの
- ※ 構成比：傷病程度人数/区分合計

また、年齢別にみると、新生児、成人、高齢者の場合は中等症の割合が高いのに対し、乳幼児、少年の場合は、軽症の比率が高くなっている。

表4 傷病程度別搬送人員の状況（年齢別区分）

（単位：人，％）

区分	合計		死亡	構成比	重症		中等症		軽症		その他	
	合計	構成比			重症	構成比	中等症	構成比	軽症	構成比	その他	構成比
新生児	158	100.0	2	1.3	55	34.8	91	57.6	10	6.3		
乳幼児	2,595	100.0	9	0.3	82	3.2	650	25.0	1,853	71.4	1	0.0
少年	2,308	100.0	2	0.1	104	4.5	755	32.7	1,446	62.7	1	0.0
成人	23,195	100.0	113	0.5	2,165	9.3	10,530	45.4	10,381	44.8	6	0.0
高齢者	43,566	100.0	496	1.1	6,761	15.5	25,432	58.4	10,866	24.9	11	0.0
計	71,822	100.0	622	0.9	9,167	12.8	37,458	52.2	24,556	34.2	19	0.0

(3) 現場到着所要時間及び収容所要時間の状況

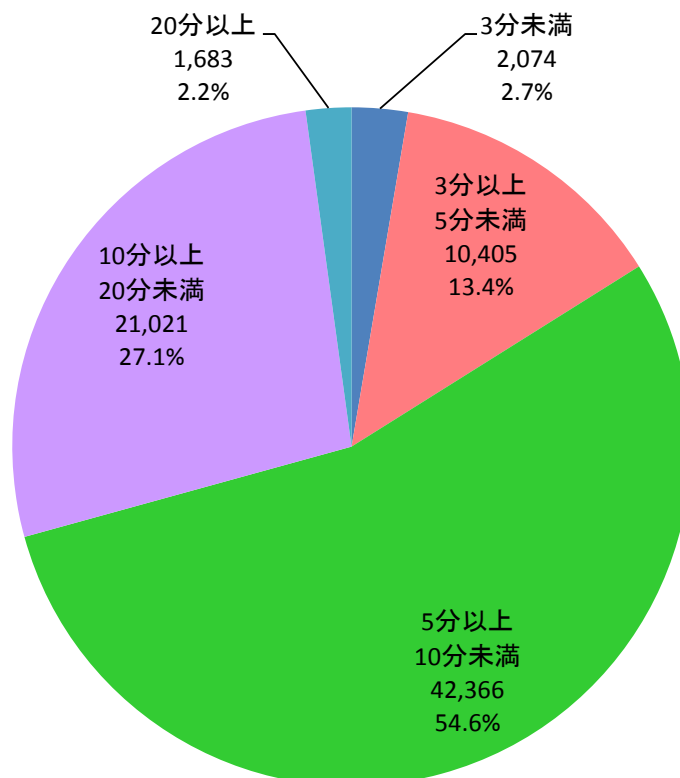
平成26年中の救急出動件数77,549件について現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。

これによると最も多いのは、5分以上～10分未満の42,366件で全体の54.6%を占めている。

表5 現場到着時間別出動件数

区分	計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着平均 所要時間	
							県	全国
急病	45,266	967	4,810	25,111	13,427	951	8.5分	—
交通事故	6,066	143	694	3,152	1,881	196	8.7分	—
一般負傷	10,608	278	1,181	5,724	3,158	267	8.6分	—
その他	15,609	686	3,720	8,379	2,555	269	7.0分	—
計	77,549	2,074	10,405	42,366	21,021	1,683	8.2分	8.6分
構成比	100.0%	2.7%	13.4%	54.6%	27.1%	2.2%	—	—

図5



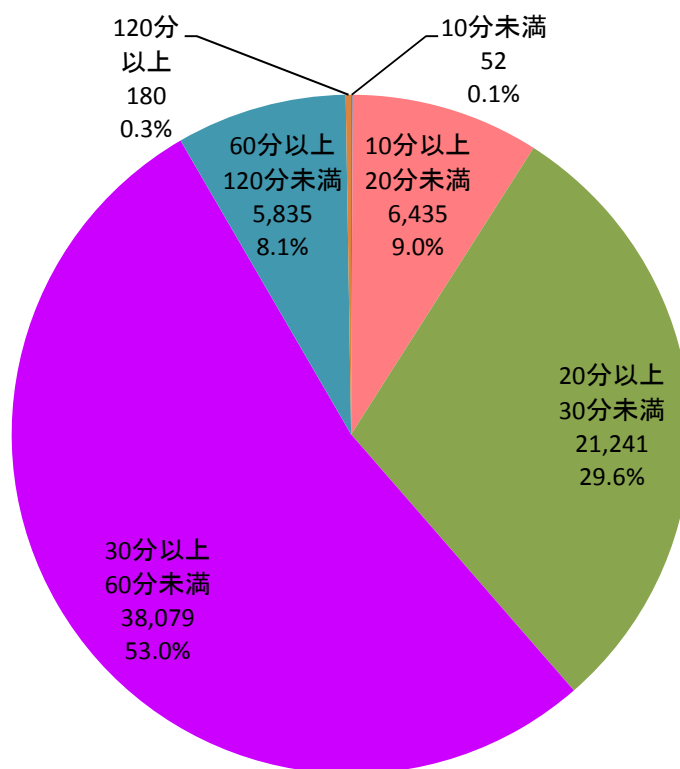
平成26年中の搬送人員71,822人について、収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。

これによると搬送人員のうち44,094人（61.4%）が収容に30分以上要している。

表6 収容所要時間搬送人員

区分	計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	収容平均 所要時間	
								県	全国
急病	41,628	14	2,882	12,463	23,340	2,864	65	36.4分	—
交通事故	6,046	5	399	1,654	3,492	482	14	37.5分	—
一般負傷	9,917	13	706	2,785	5,595	791	27	37.4分	—
その他	14,231	20	2,448	4,339	5,652	1,698	74	36.4分	—
計	71,822	52	6,435	21,241	38,079	5,835	180	36.6分	39.4分
構成比	100.0%	0.1%	9.0%	29.6%	53.0%	8.1%	0.3%	—	—

図6



- (4) 事故種別転送回数別搬送人員の状況
 搬送人員71,822人のうち99.3%は、転送なしで収容されているが、
 0.7%（491人）にあたる人は転送されている。
 そのうち、転送回数1回の者が転送者全体の99.0%を占めている。

表7 転送回数別搬送人員の状況

区分	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	
転送なし	71,331	41,303	6,010	9,833	14,185	
転送	1回	486	320	36	84	46
	2回	5	5			
	3回					
	4回					
	5回以上					
	小計 (A)	491	325	36	84	46
計 (B)	71,822	41,628	6,046	9,917	14,231	
転送率 (A)/(B) × 100	0.7	0.8	0.6	0.8	0.3	

転送理由についてみると、救急告示医療機関、非告示医療機関ともに処置困難が多く、次いで専門外の順になっている。

表8 医療機関転送理由の状況

(単位：件，%)

区分		合計	ベッド 満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他
救急告示	構成比	100.0	1.2	26.2	1.2	1.8	42.3		27.4
		168	2	44	2	3	71		46
非告示	構成比	100.0	1.4	28.4	0.3		57.8	0.3	11.8
		289	4	82	1		167	1	34
計	構成比	100.0	1.3	27.6	0.7	0.7	52.1	0.2	17.5
		457	6	126	3	3	238	1	80

(5) 救急隊員の行った応急処置の状況

平成26年中に転送された人員のうち、救急隊員によって応急処置された人の事故種別、処置項目状況をみると、急病においては、血中酸素飽和度の測定が最も多く、次いで血圧測定が多い。

また、交通事故、一般負傷においても、血中酸素飽和度の測定・血圧測定の順で処置が多くなっている。

表9 救急隊員の行った応急処置の状況

(単位:人)

処置項目	事故種別	計	急病	交通事故	一般負傷	その他				
	応急処置対象 搬送人員	70,853	41,439	5,973	9,833	13,608				
止	血	1,828	198	383	1,025	222				
固	定	5,791	227	3,377	1,585	602				
人	工	呼	吸	372	263	11	29	69		
心	マ	ツ	サ	ー	ジ	113	87	4	9	13
心	肺	蘇	生	1,713	1,278	56	176	203		
酸	素	吸	入	16,227	10,021	736	808	4,662		
気	道	確	保	2,583	1,877	89	247	370		
(再掲)気道確保のうち気管挿管		204	136	3	48	17				
保	温	4,354	2,757	262	598	737				
被	覆	3,921	150	1,181	2,160	430				
在	宅	療	法	継	続	169	130		21	18
ショックパンツによる血圧保持		3	2		1					
除	細	動	225	196	5	7	17			
静脈路確保(輸液)		351	282	6	27	36				
薬	剤	投	与	119	98	2	8	11		
血	圧	測	定	65,912	38,934	5,736	9,233	12,009		
聴診器による心音・呼吸音等の聴取		13,244	9,168	1,345	1,266	1,465				
血中酸素飽和度の測定		68,279	40,051	5,861	9,532	12,835				
心	電	図	28,492	21,092	1,193	2,096	4,111			
その他の応急処置		31,256	21,030	1,911	3,961	4,354				
計(再掲の気管挿管を除く)		244,952	147,841	22,158	32,789	42,164				

(注) 一人につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象搬送人員と事故種別ごとの処置項目の計の数は一致しない。

(6) 高速道路における救急業務の状況

高速自動車国道における救急業務実施体制は、平成27年4月1日現在、九州縦貫自動車道のうち鹿児島インターチェンジから宮崎インターチェンジ並びにえびのインターチェンジから人吉インターチェンジまでを沿線3市1組合で、相互応援協定を締結し、上下線方式により、第1次出場をインターチェンジ所在の常備消防が担当する体制を整えている。

東九州自動車道31.7kmは沿線1市1組合が担当している。

県内においては、上り線が鹿児島インターチェンジから宮崎県えびのインターチェンジまでの69.8kmについて、第1次出場を担当し、救急業務を行っている。

なお、平成26年中の本県における救急活動は、下表のとおりである。

高速自動車道における救急活動状況

表10 九州自動車道

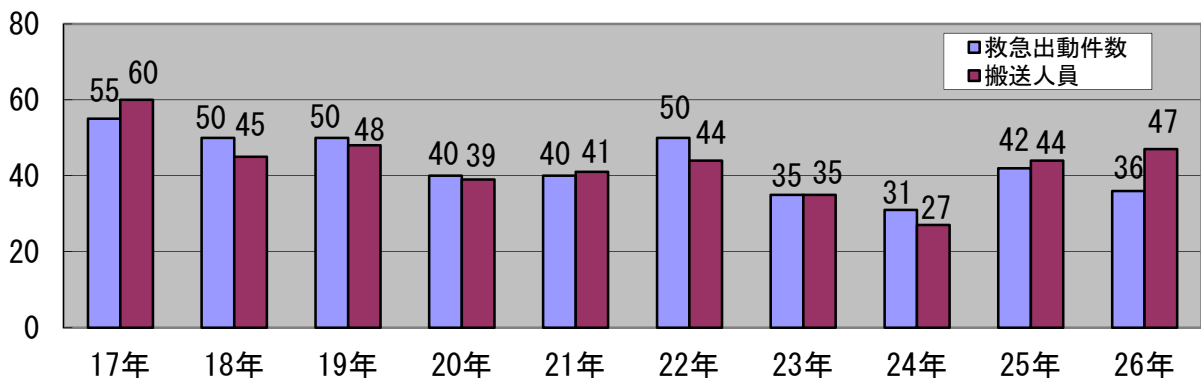
区分	インターチェンジ名(IC)	救急出動件数	搬送人員	救急告示医療機関数	高速道路における救急活動開始年月日
鹿児島市消防局	鹿児島	2	4	24	昭和63.3.29
	鹿児島北	1	1	3	昭和52.11.15
	薩摩吉田	8	11		昭和48.12.13
始良市消防本部	始良	7	8	1	昭和48.12.13
	加治木			1	昭和48.12.13
霧島市消防局	溝辺鹿児島空港	5	7	3	平成17.11.7
	横川	5	5	1	平成17.11.7
伊佐湧水消防組合	栗野	2	4	3	昭和55.3.22
計	8 IC	30	40	36	

(注) 医療機関は、インターチェンジから半径5キロメートルの範囲にあるものである。

表11 東九州自動車道

区分	インターチェンジ名(IC)	救急出動件数	搬送人員	救急告示医療機関数	高速道路における救急活動開始年月日
霧島市消防局	国分	4	4	3	平成14.3.2
	隼人東			3	平成12.3.4
大隅曾於地区消防組合	末吉財部	2	3		平成14.5.9
計	3 IC	6	7	6	

図7 最近10年間の高速自動車道における救急出動件数及び搬送人員



3 プレホスピタル・ケアの充実

プレホスピタル・ケア（救急現場及び搬送途上における応急処置）の一層の充実を図るために、平成3年8月に「救急隊員の行う応急処置等の基準」が改正され、これに伴い消防学校における新たな教育訓練（救急標準課程（平成16年4月1日より救急科に改称）及び救急Ⅱ課程）の修了者は、従来の応急処置に加えて9項目の処置を行うものとされ、救急救命士資格者は、医師の指示の下にさらに高度な応急処置（特定3項目）をも行うものとされた。

これに伴い、消防学校における救急科（救急標準課程）の修了者が計画的に養成されるとともに、救急救命士についても県内全消防本部において運用され、資格者、高規格救急自動車のいずれも着実に増加している。

また、救急救命士の質の向上による救命効果を高めるため、平成15年2月に消防機関、救急医療機関、医師会などにより構成される鹿児島県救急業務高度化協議会を、同年3月に6地域（薩摩、北薩、始良伊佐、大隅、熊毛、大島）に地域救急業務高度化協議会を設置し、本県における救急業務の高度化について協議を行い、平成15年4月から包括的除細動を実施し、平成16年7月から認められた医師の具体的指示下での気管挿管についても救急業務高度化協議会で承認された病院で、体制の整った消防本部から順次病院実習を実施し、275名が認定を受け19消防本部で実施が可能となっている。

また、平成18年4月から認められた医師の具体的指示下での薬剤投与についても416名が認定・登録を受け、20消防本部で実施が可能となっている。

さらに、救急現場近くの一般市民による応急手当を促進するため、平成26年12月末までに応急手当指導員2,107名、応急手当普及員331名が県内消防本部により養成され、住民に対する応急手当講習会が次のとおり実施されている。

なお、平成16年12月に応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱の一部改正により、非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用が可能となったことから、AEDの内容を含めた救命講習の実施率が高くなっている。

平成26年中の住民に対する応急手当講習会実施状況

普通救命講習	885回	16,940名受講
上級救命講習	18回	210名受講
救急入門コース	567回	12,723名受講
その他の講習	1,701回	52,748名受講
計	3,171回	82,621名受講

表12 救急業務高度化の推進状況

各年4月1日現在

区分	平成27年	平成26年	対前年比較	
			増減数	増減率
救急救命士運用消防本部数	20	20		1.00
救急隊員数①	1,105	1,063	42	1.04
うち救急救命士有資格者②	471	443	28	1.06
(②/①:%)	(42.6%)	(41.7%)		
(②のうち気管挿管認定者)	288	265	23	1.09
(②のうち薬剤投与認定者)	416	385	31	1.08
うち救急科（救急標準課程）	634	634		1.00
(③/①:%)	(57.4%)	(59.6%)		
救急自動車数④	140	139	1	1.01
うち高規格車⑤	101	95	6	1.06
(⑤/④:%)	(72.1%)	(68.3%)		
救急隊数⑥	108	107	1	1.01
うち救急救命士運用隊⑦	105	101	4	1.04
(⑦/⑥:%)	(97.2%)	(94.4%)		

※1 救急救命士については、上記471名の外、代替として救急業務に従事する資格者が29名及び救急自動車に乗車しない資格者が54名いる。（有資格者は、554名）

表13 救急業務実施体制等の状況（消防本部設置市町村）

区分 消防本部別	人口 (人) H22年 国調	面積 (km ²)	救 急 体 制										
			救急車総数 (台)			救急 隊数	救急 救命 士運 用隊 数 ※2	救急隊員数 (人)					
			うち 高 規 格	うち 予 備 車	計			うち資格者・修了者			専任	兼任	
								救急 救命 士	標準 課程	救急 Ⅱ課 程			
鹿児島市消防局	605,846	547.57	21	15	5	16	15	113	61	47	5	73	40
枕崎市消防本部	23,638	74.78	3	1	1	2	2	30	8	15	7		30
出水市消防本部	55,621	329.98	4	3	1	3	3	16	13	3		16	
垂水市消防本部	16,168	162.03	3	2	1	2	1	41	13	24	4		41
薩摩川内市消防局	99,589	682.94	9	4	2	7	7	51	25	21	3	9	42
日置市消防本部	50,035	252.99	4	4	1	3	3	13	13			13	
霧島市消防局	127,487	603.18	8	8		8	8	47	42	5		42	5
いちき串木野市 消防本部	31,144	112.30	3	3	1	2	2	41	12	21	7		41
南さつま市消防本部	38,704	283.59	5	4		5	5	67	20	40	7	20	47
始良市消防本部	74,809	231.31	5	4	1	3	3	40	21	19		40	
さつま町消防本部	24,109	303.96	3	3	1	2	2	16	9	6	1	8	8
指宿南九州消防組合	83,461	506.69	8	6		8	8	101	32	66	3		101
阿久根地区消防組合	34,259	250.55	6	4	2	4	3	60	16	30	14		60
伊佐湧水消防組合	40,899	536.69	6	3	1	5	5	61	21	31	9		61
大隅曾於地区消防組合	86,470	781.06	9	9	2	7	7	41	35	5	1	41	
大隅肝属地区消防組合	143,981	1,160.20	11	11	1	10	10	79	29	47	3	33	46
沖永良部与論地区 広域事務組合	19,018	114.27	5	3	3	2	2	32	13	9	10		32
徳之島地区消防組合	25,591	247.91	4	1	1	3	3	45	12	17	16		45
熊毛地区消防組合	45,455	994.82	10	6	4	6	6	84	36	25	23		84
大島地区消防組合	73,939	878.34	13	7	3	10	10	127	40	58	28	8	119
計	1,700,223	9,055.16	140	101	31	108	105	1,105	※1 471	489	141	303	802

※1 救急救命士については、上記471名の外、代替として救急業務に従事する資格者が29名及び救急自動車に乗車しない資格者が54名いる。（有資格者は、554名）

※2 救急救命士運用隊数は、一部運用も含む。

[現場到着平均所要時間及び収容平均所要時間は平成26年中、左記以外は平成27年4月1日現在]

医療機関数 (件)											人口 10万人 当たりの救急医療 機関数	現場 到着 平均 所要 時間 (分)	収容 平均 所要 時間 (分)
合計	救急告示医療機関					その他の医療機関							
	国 公立	公 的	私 的		計	国 公立	公 的	私 的		計			
病 院			診 療 所	病 院				診 療 所					
639	3	3	26	3	35	14	6	66	518	604	5.8	8.2	32.2
19	1		3		4			4	11	15	16.9	4.5	27.6
40	2				2	1		4	33	38	3.6	8.6	36.2
12	1		1		2				10	10	12.4	6.5	42.0
124		1	5		6	16	4	9	89	118	6.0	8.5	35.0
44			1		1	1		7	35	43	2.0	8.6	40.2
92	1		4	1	6	1		8	77	86	4.7	8.6	40.5
29								8	21	29		5.7	34.9
37	2		1		3	3		4	27	34	7.8	7.3	35.0
66			2		2	3		9	52	64	2.7	7.0	34.4
21			1		1			4	16	20	4.1	9.1	43.5
69	1		3	2	6			15	48	63	7.2	6.2	34.1
21			2		2	2		1	16	19	5.8	8.4	42.8
31	1		2		3			4	24	28	7.3	7.6	39.3
64			1	1	2			9	53	62	2.3	9.1	46.0
101	2		5	2	9	1		9	82	92	6.3	9.4	42.7
11			2		2				9	9	10.5	7.6	26.6
7			2		2			1	4	5	7.8	9.4	37.7
20	1		2		3	4		1	12	17	6.6	9.1	39.6
89	1		4		5	7		5	72	84	6.8	9.0	39.6
1,536	16	4	67	9	96	53	10	168	1,209	1,440	5.6	8.2	36.6

表14 消防本部救急出動件数及び搬送人員

区分		事故種別救急出動件										
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病
消防本部名												
鹿児島市消防局		26,422	83	3	20	2,209	189	180	3,520	127	318	15,574
枕崎市消防本部		1,030			3	75	13	9	133	1	15	523
出水市消防本部		2,144	2		2	206	22	22	290	7	23	1,242
垂水市消防本部		1,028			3	85	5	6	113	3	4	577
薩摩川内市消防局		3,993	17		3	315	27	41	494	7	43	2,327
日置市消防本部		2,095	1	2	2	136	22	20	281	3	13	1,194
霧島市消防本部		5,786	10		4	635	55	40	810	29	63	3,212
いちき串木野市消防本部		1,259			1	85	9	14	184	1	12	610
南さつま市消防本部		1,831	5	1	4	145	14	25	284	5	18	970
始良市消防本部		3,171	2			250	32	24	507	11	39	1,797
さつま町消防本部		963	1		1	60	6	7	157	2	7	534
指宿南九州消防組合		3,852	4		5	273	33	27	507	12	37	1,999
阿久根地区消防組合		2,113	3		1	98	12	7	278	3	8	1,281
伊佐湧水消防組合		1,848	2			104	19	6	259	7	21	990
大隅曾於地区消防組合		4,177	7		2	355	58	28	544	12	49	2,590
大隅肝属地区消防組合		6,889	5	1	6	602	42	46	882	16	73	4,044
沖永良部与論地区 広域事務組合		832	1		3	44	6	3	117	1	10	541
徳之島地区消防組合		1,855	2		2	79	4	9	312	10	10	1,321
熊毛地区消防組合		2,105	1	2	3	108	24	10	315	2	14	1,339
大島地区消防組合		4,156	4	5	24	202	12	17	621	15	29	2,601
計		77,549	150	14	89	6,066	604	541	10,608	274	806	45,266
時 間 区 分	0~2	3,462	8		4	132	7		428	52	54	2,491
	2~4	2,627	11		2	85	3		283	26	33	1,972
	4~6	2,575	11	1	2	91	1		278	17	42	1,964
	6~8	5,086	4	2	8	644	20		660	15	67	3,442
	8~10	9,321	9	2	12	714	120	47	1,402	7	83	5,186
	10~12	10,090	19	1	13	737	144	136	1,345	10	72	4,891
	12~14	9,045	16		11	659	77	117	1,198	9	74	4,549
	14~16	8,342	16	2	14	784	99	107	1,180	19	73	4,170
	16~18	8,286	16	1	9	852	85	64	1,283	15	96	4,234
	18~20	7,672	14	3	9	727	28	42	1,075	32	79	4,742
	20~22	6,342	13	2	3	386	13	22	863	30	78	4,340
	22~24	4,701	13		2	255	7	6	613	42	55	3,285

〔平成26年中〕

数				事故種別搬送人員											
その他				計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
転院搬送	医師搬送	資輸 機材 等送	その他												
3,387	2		810	24,103	19	3	13	2,181	183	179	3,285	115	229	14,277	3,619
251	4		3	1,002				82	13	9	131	1	8	507	251
314	1		13	1,932	2		2	212	19	20	259	5	9	1,090	314
227	4		1	996			2	93	5	6	108	3	1	553	225
684	4		31	3,666	4		2	320	26	40	462	6	23	2,137	646
420			1	2,006	1	2	1	133	21	20	272	3	7	1,125	421
906	19		3	5,345	10		1	570	54	39	764	20	41	2,940	906
340			3	1,167				85	9	13	169	1	7	546	337
353	3		4	1,742	5	1	2	144	14	26	272	5	8	912	353
503	1		5	2,989	2			251	32	23	474	11	24	1,669	503
185	3			908	1		1	55	6	7	148	2	3	502	183
946	1	1	7	3,709	4		3	298	33	26	486	10	27	1,877	945
413	1		8	1,971	3			100	12	7	269	3	3	1,160	414
431			9	1,759	2			107	17	6	251	5	11	928	432
529	1		2	3,978	6		2	350	57	28	526	11	31	2,438	529
1,155	1	1	15	6,564	5	1	4	632	42	46	844	14	55	3,773	1,148
98	1		7	759			3	46	5	3	112	1	5	490	94
106				1,798	3		2	85	4	9	304	10	6	1,269	106
236	43	1	7	1,980	1	2	2	118	23	9	296	2	10	1,285	232
576	1		49	3,448	6	5	11	184	13	17	485	11	20	2,150	546
12,060	90	3	978	71,822	74	14	51	6,046	588	533	9,917	239	528	41,628	12,204
216			70	3,106	5		2	130	7		381	48	36	2,279	218
152	1		59	2,331	3		1	76	3		247	20	27	1,803	151
116			52	2,325	6	1	2	85	1		251	16	35	1,815	113
175			49	4,650	3	2	4	609	20		630	14	34	3,166	168
1,627	24	1	87	8,689	4	2	7	684	117	46	1,346	5	51	4,777	1,650
2,597	18	1	106	9,508	13	1	7	762	143	136	1,272	10	41	4,493	2,630
2,203	19		113	8,413	8		7	652	73	114	1,124	9	48	4,157	2,221
1,756	17		105	7,796	6	2	9	793	96	103	1,107	16	48	3,819	1,797
1,511	11		109	7,756	5	1	4	869	84	68	1,209	14	57	3,895	1,550
854		1	66	7,145	7	3	5	752	25	39	1,007	27	55	4,373	852
519			73	5,850	5	2	1	389	12	22	791	25	54	4,031	518
334			89	4,253	9		2	245	7	5	552	35	42	3,020	336

表15 曜日別月別救急出動件数

(平成26年中)

事故種別 (件)		火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他				計
												転院 搬送	医師 搬送	資機 材等 輸送	その他	
区分																
曜 日 別	月	22	1	17	883	89	47	1,535	37	126	6,707	1,976	14	1	138	11,593
	火	17	1	6	870	77	51	1,390	42	113	6,392	1,836	10		114	10,919
	水	24	4	8	885	102	48	1,454	31	119	6,546	1,932	14	1	135	11,303
	木	19	1	10	870	99	32	1,331	29	99	6,199	1,829	14		131	10,663
	金	26	3	14	859	105	41	1,540	40	126	6,267	1,958	15		150	11,144
	土	21	1	15	849	97	130	1,621	36	115	6,578	1,535	8	1	150	11,157
	日	21	3	19	850	35	192	1,737	59	108	6,577	994	15		160	10,770
計		150	14	89	6,066	604	541	10,608	274	806	45,266	12,060	90	3	978	77,549
月 別	1月	19		7	489	39	25	942	26	68	4,506	1,079	8		73	7,281
	2月	4		5	431	38	26	755	22	73	3,411	934	4		65	5,768
	3月	17		4	518	43	38	873	20	62	3,828	1,063	7	1	101	6,575
	4月	15		6	505	37	36	848	13	68	3,462	993	12		83	6,078
	5月	8		5	525	62	44	893	24	60	3,507	1007	6		83	6,224
	6月	8		5	456	46	69	738	23	79	3,339	884	5		75	5,727
	7月	16	4	19	509	60	60	845	25	74	3,934	1051	2	1	92	6,692
	8月	8	2	13	494	66	62	948	28	66	3,968	983	7	1	87	6,733
	9月	15		9	522	58	70	819	19	83	3,431	962	8		81	6,077
	10月	9	7	2	473	54	39	951	15	61	3,595	1069	6		85	6,366
	11月	11		7	565	54	41	906	24	56	3,739	929	14		65	6,411
	12月	20	1	7	579	47	31	1090	35	56	4,546	1,106	11		88	7,617

4 応急手当指導員等養成講習の状況

表16
【指導員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成26年中修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	33	25	6		2	7	15
	応急手当指導員講習Ⅱ	130	16		114			23
	応急手当指導員講習Ⅲ							
	消防長認定者	68	55	10		3	13	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者							
	計	231	96	16	114	5	20	38
前年中までの修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	466	346	13	55	52	25	47
	応急手当指導員講習Ⅱ	796	488		308			348
	応急手当指導員講習Ⅲ	2	1			1		1
	消防長認定者	517	449	31		37	24	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	95	90	3		2	1	
	計	1,876	1,374	47	363	92	50	396
合計	2,107	1,470	63	477	97	70	434	

表17
【普及員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成26年中修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	36	2		2		2	20
	応急手当普及員講習Ⅱ							
	消防長認定者	4					4	
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	40	2		2		36	20
前年中までの修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	274	35		43	2	194	20
	応急手当普及員講習Ⅱ							
	消防長認定者	17					17	
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	291	35		43	2	211	20
合計	331	37		45	2	247	40	

第2 救助活動の概況

1 救助業務実施体制

平成27年4月1日現在，救助隊は28隊配置されており，そのうち5隊が特別救助隊で，1隊が高度救助隊である。

また，329人の救助隊員のうち32.5%にあたる107人が専任救助隊員である。

表18 救助体制

(単位：隊，人)

区分	救助隊数			救助隊員数			
	省令	専任救助隊	兼任救助隊	計	専任救助隊員	兼任救助隊員	計
消防本部							
鹿児島市消防局	3	3		3	42		42
	4	2		2	28		28
	5	1		1	14		14
枕崎市消防本部	3		1	1		10	10
	4						
	5						
出水市消防本部	3	1		1	8		8
	4						
	5						
垂水市消防本部	3		1	1		5	5
	4						
	5						
薩摩川内市消防局	3	1	1	2	11	9	20
	4	1		1	11	1	12
	5						
日置市消防本部	3		1	1		12	12
	4						
	5						
霧島市消防局	3		2	2	2	14	16
	4						
	5						
いちき串木野市消防本部	3		1	1		18	18
	4						
	5						
南さつま市消防本部	3		1	1		9	9
	4						
	5						
始良市消防本部	3	1		1	8		8
	4						
	5						
さつま町消防本部	3		1	1		15	15
	4						
	5						
指宿南九州消防組合	3		1	1		10	10
	4						
	5						
阿久根地区消防組合	3		1	1		23	23
	4						
	5						
伊佐湧水消防組合	3		2	2		11	11
	4						
	5						
大隅曾於地区消防組合	3	2		2	16		16
	4	1		1	9		9
	5						
大隅肝属地区消防組合	3	1	2	3	10	30	40
	4	1		1	10		10
	5						
沖永良部与論地区広域事務組合	3		1	1		15	15
	4						
	5						
徳之島地区消防組合	3		1	1		22	22
	4						
	5						
熊毛地区消防組合	3		1	1		19	19
	4						
	5						
大島地区消防組合	3	1		1	10		10
	4						
	5						
県計	3	10	18	28	107	222	329
	4	5		5	58	1	59
	5	1		1	14		14

※ 省令3は省令第3条の規定による救助隊，省令4は省令第4条の規定による救助隊（特別救助隊），省令5は省令第5条の規定による救助隊（高度救助隊）

表19 救助隊が搭乗する車両

区分	救 助	はしご車	屈 折	ポンプ車	水 槽 付	化 学 車	そ の 他	計
	工 作 車		はしご車		ポンプ車			
消防本部								
鹿児島市消防局	3							3
枕崎市消防本部	1		1					2
出水市消防本部	1	1						2
垂水市消防本部					1		1	2
薩摩川内市消防局	1							1
日置市消防本部	1							1
霧島市消防局	2	1			1			4
いちき串木野市消防本部	1	1						2
南さつま市消防本部	1	1					1	3
始良市消防本部	1							1
さつま町消防本部	1							1
指宿南九州消防組合	1	1						2
阿久根地区消防組合	1						1	2
伊佐湧水消防組合	2							2
大隅曾於地区消防組合	2	1			2		2	7
大隅肝属地区消防組合	1							1
沖永良部与論地区 広域事務組合	1							1
徳之島地区消防組合	1							1
熊毛地区消防組合	1							1
大島地区消防組合	1							1
県 計	24	6	1		4		5	40

2 救助業務実施状況

平成26年中における救助業務の実施状況は、救助出動件数807件、救助活動件数493件、救助人員550人となっている。（表-20）

これを前年と比較すると出動件数は15件（1.9%）の増加、活動件数は3件（0.6%）の増加、救助人員は51人（8.5%）の減少となっている。

図8 過去20年間の救助業務実施状況の推移

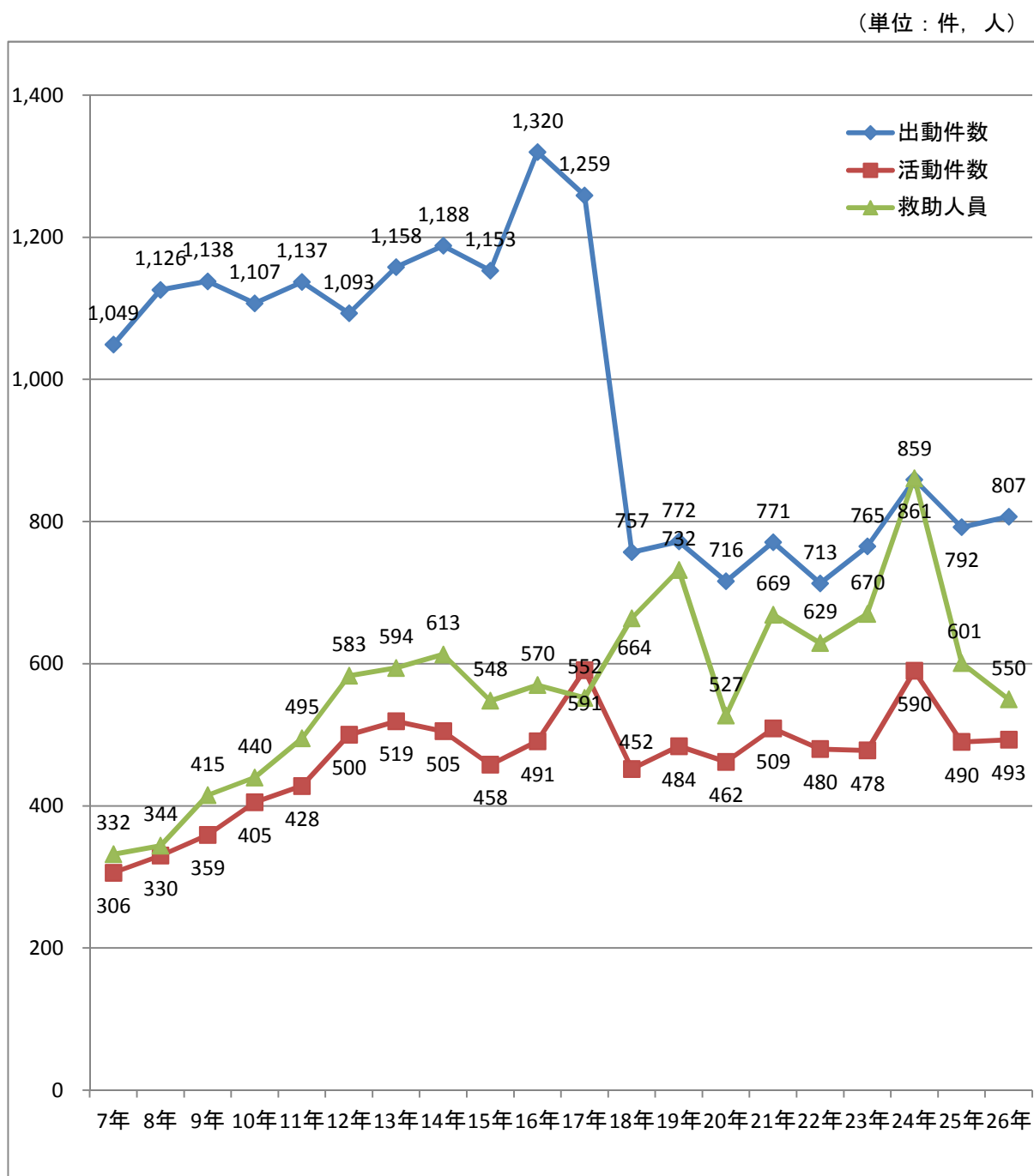


表20 事故種別出動件数及び出動人員の状況（平成26年）

（単位：件、人）

事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害等	風雨災害等	機械による事故	建築物等事故	ガス事故及び	破裂事故	その他の事故	計
消防本部											
鹿児島市消防局	14	66	19			5	9	6		37	156
枕崎市消防本部		11	1			3				5	20
出水市消防本部		22	3			1	1			6	33
垂水市消防本部		12	4			2				2	20
薩摩川内市消防局	5	41	6				4			8	64
日置市消防本部		17	2			1				5	25
霧島市消防局	1	55	8			2	1			9	76
いちき串木野市消防本部		13	1							2	16
南さつま市消防本部	6	22	2			2				4	36
始良市消防本部		22				4				22	48
さつま町消防本部		7	1							4	12
指宿南九州消防組合	3	28	2			3	4			18	58
阿久根地区消防組合		5	1							7	13
伊佐湧水消防組合		21				1	3			7	32
大隅曾於地区消防組合		47				6				12	65
大隅肝属地区消防組合	2	41	7			1	2			19	72
沖永良部与論地区広域事務組合			6							3	9
徳之島地区消防組合										5	5
熊毛地区消防組合		6	1							13	20
大島地区消防組合		16	6	1			1			3	27
救助出動件数 計	31	452	70	1	31	25	6			191	807
救助出動人員	専任救助隊員	145	873	171	3	61	65	38		387	1,743
	兼任救助隊員	33	659	96		54	18			224	1,084
	消防隊員	482	1,232	283	6	70	64	27		479	2,643
	救急隊員	81	1,903	227	3	100	61	19		535	2,929
	消防団員	486	2	13						95	596
	計	1,227	4,669	790	12	285	208	84		1,720	8,995

表21 事故種別活動件数及び活動人員の状況（平成26年）

（単位：件，人）

事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然水災害等	機械による	建物等	ガス欠事及び	破裂事故	その他の事故	計
消防本部										
鹿児島市消防局	14	44	15		5	4	4		29	115
枕崎市消防本部		3	1		3				3	10
出水市消防本部		16	3			1			3	23
垂水市消防本部		12	4		2				1	19
薩摩川内市消防局	5	21	2			2			3	33
日置市消防本部		7	1		1				2	11
霧島市消防局	1	19	3		1				5	29
いちき串木野市消防本部		5	1						2	8
南さつま市消防本部	6	8	2						4	20
始良市消防本部		22			4				20	46
さつま町消防本部		5	1						2	8
指宿南九州消防組合	3	22	2			4			13	44
阿久根地区消防組合		1							2	3
伊佐湧水消防組合		10			1	2			4	17
大隅曾於地区消防組合		14			3				6	23
大隅肝属地区消防組合	2	19	6		1	1			13	42
沖永良部与論地区広域事務組合			5						1	6
徳之島地区消防組合									5	5
熊毛地区消防組合		6	1						12	19
大島地区消防組合		3	6	1		1			1	12
救助活動件数 計	31	237	53	1	21	15	4		131	493
救助活動人員	専任救助隊員	84	366	94	3	51	23	30	186	837
	兼任救助隊員	28	267	68		29	4		131	527
	消防隊員	219	618	168	6	40	34	17	329	1,431
	救急隊員	31	772	133	3	56	31	9	312	1,347
	消防団員	1		13					58	72
	計	363	2,023	476	12	176	92	56	1,016	4,214

（注）「救助活動件数」とは、救助出動件数のうち、実際に救助活動を行った件数をいう。

表22 事故種別救助人員の状況（平成26年）

（単位：人）

事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害等	風雨災害等	機械による事故	建築物等	ガス欠等	破裂事故	その他の事故	計
消防本部											
鹿児島市消防局	7	46	17			7	2	1		24	104
枕崎市消防本部		4	1			3				3	11
出水市消防本部		18	3				1			3	25
垂水市消防本部		24	4			2				1	31
薩摩川内市消防局	3	19	2				2			3	29
日置市消防本部		8	1			1				2	12
霧島市消防局	2	20	3			1				5	31
いちき串木野市消防本部		5	1							2	8
南さつま市消防本部	1	10	2							4	17
始良市消防本部		24				4				17	45
さつま町消防本部		6	1							2	9
指宿南九州消防組合	1	42	2				4			18	67
阿久根地区消防組合		1								4	5
伊佐湧水消防組合		13				1	2			4	20
大隅曾於地区消防組合		24				3				6	33
大隅肝属地区消防組合	2	21	6			1	1			13	44
冲永良部与論地区広域事務組合			6							1	7
徳之島地区消防組合										5	5
熊毛地区消防組合		9	1							12	22
大島地区消防組合		5	9	3			7			1	25
救助人員計	16	299	59	3		23	19	1		130	550

表23 救助活動のための機械器具等の保有状況（救助隊保有分）

一般 用 救 助 用 器 具	かぎ付きはしご	31	隊 員 保 護 用 器 具	耐電手袋	115	
	三連はしご	27		耐電衣	35	
	金属折りたたみはしご又はワイヤはしご	16		耐電ズボン	37	
	空気式救助マット	22		耐電長靴	72	
	救命索発射銃	34		防塵メガネ	110	
	サバイバースリング又は救助用縛帯	85		携帯警報器	88	
	平担架	14		防毒マスク	74	
	重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ		32	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	24
		油圧スプレッダー		11	陽圧式化学防護服	46
		可搬ウィンチ		32	耐熱服	18
マンホール救助器具		20	放射線防護服	63		
救助用簡易起重機		1	特殊ヘルメット	7		
マット型空気ジャッキ		33	除器 染 用 具	除染シャワー	1	
大型油圧スプレッダー		19	除染剤散布器	2		
救助用支柱器具		11	水 難 救 助 用 器 具	潜水器具	79	
チェーンブロック		9		救命胴衣	254	
切 断 用 器 具		油圧切断機		21	水中投光器	23
	エンジンカッター	29		救命浮環	81	
	ガス溶断機	20		浮標	15	
	チェーンソー	34		救命ボート	12	
	鉄線カッター	44		船外機	10	
	空気鋸	28		水中スクーター	1	
	大型油圧切断機	19		水中無線機	2	
	空気切断機	14		水中時計	17	
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	6	水中テレビカメラ	2		
	破 壊 用 器 具	万能斧	72	山用 器 具	登山器具	20
ハンマー		36	救 具	バスケット型担架	37	
携帯用コンクリート破壊器具		17	検 用 器 具	簡易画像探索機	6	
削岩機		18	高 度 救 助 器 具	画像探索機	8	
測 定 用 器 具	ハンマドリル	13	地中音響探知機	2		
	生物剤検知器	2	熱画像直視装置	7		
	可燃性ガス測定器	23	夜間暗視装置	2		
	有毒ガス測定器	27	水中探査装置	1		
	酸素濃度測定器	14	地震警報器	1		
呼 吸 保 護 用 器 具	放射線測定器	45	そ の 他 の 救 助 用 器 具	投光器	55	
	空気呼吸器	166		携帯投光器	47	
	空気補充用ポンプ	232		携帯拡声器	53	
	酸素呼吸器	31		携帯無線機	63	
	簡易呼吸器	13		応急処置用セット	23	
	防塵マスク	115		車両移動器具	15	
	送排風機	27		緩降機	23	
	エアラインマスク	2		ロープ登降機	45	
				救助用降下機	33	
		発電機	55			

余 白

第3 自衛隊災害派遣による離島急患搬送

離島における医療体制の実情により、現地では治療困難な患者で、一刻も早く専門病院での手当てが必要である者に対して、昭和36年から自衛隊に対し、災害派遣要請（航空機搬送）を実施している。

搬送機関・活動範囲

海上自衛隊第1航空群 鹿屋航空分遣隊（鹿屋市）

十島村以北

陸上自衛隊第15旅団 第15飛行隊（沖縄県那覇市）

奄美大島以南

1 自衛隊災害派遣（離島急患搬送）の状況

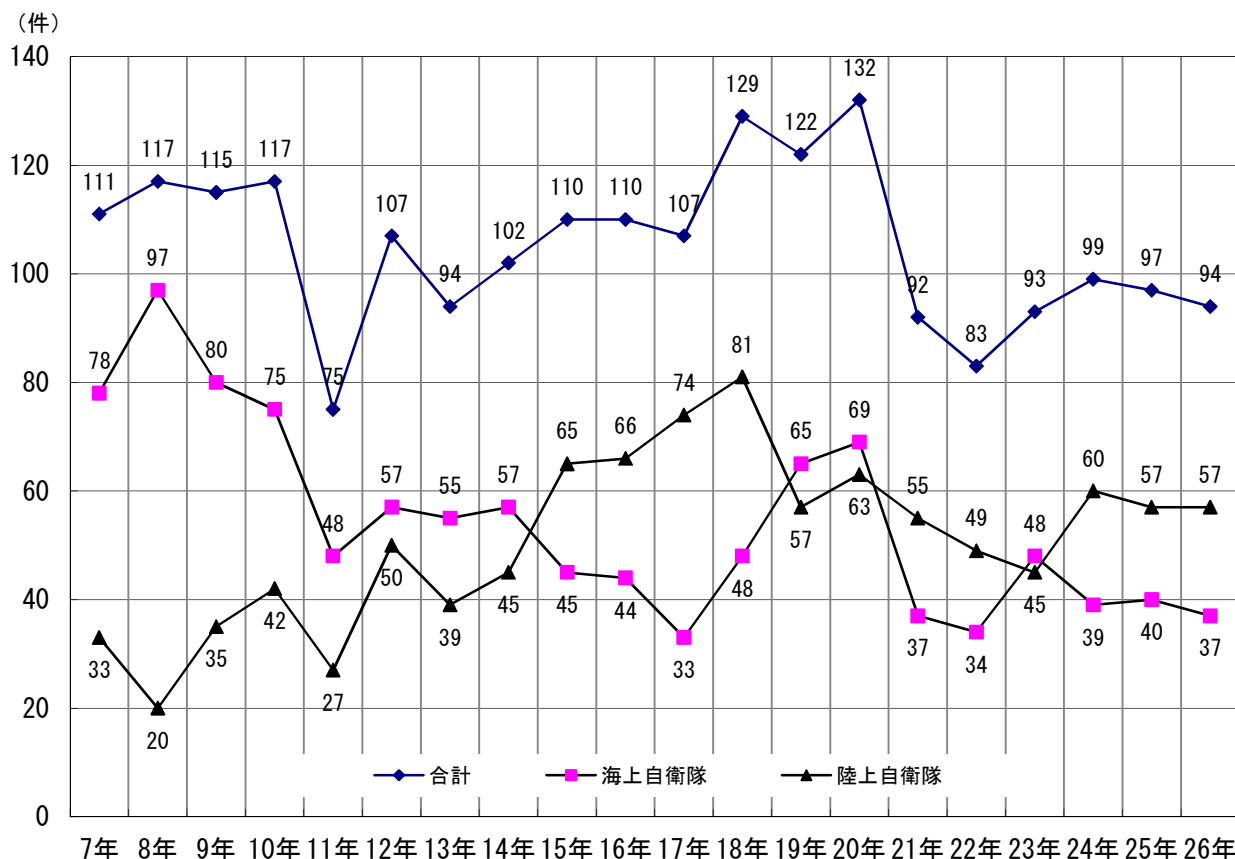
平成26年中における急患搬送出動件数は94件である。（図9）

出動件数94件を郡別にみると、大島郡（奄美市を含む）が72件（全体の76.6%）で、次に熊毛郡（西之表市を含む）が16件（同17.0%）、鹿児島郡が5件（同5.3%）、薩摩川内市が1件（同1.1%）となっている。（図10及び表24）

また、月別では、10月の12件が最も多く、時間帯別（派遣要請時間）では18時から20時までが13件で最も多くなっている。（表25）

平成26年中の搬送人員を傷病別にみると、内臓疾患によるものが39人（全体の41.9%）で最も多く、次に産科・婦人科系が17人（同18.3%）となっている。（表26及び表27）

図9 過去20年間の災害派遣（急患搬送）出動件数



（注）「海上自衛隊」には、教育航空集団を、「陸上自衛隊」には南西航空混成団をそれぞれ含んでいる。

図10 過去20年間の市・郡別災害派遣（急患搬送）の出動件数（その1）

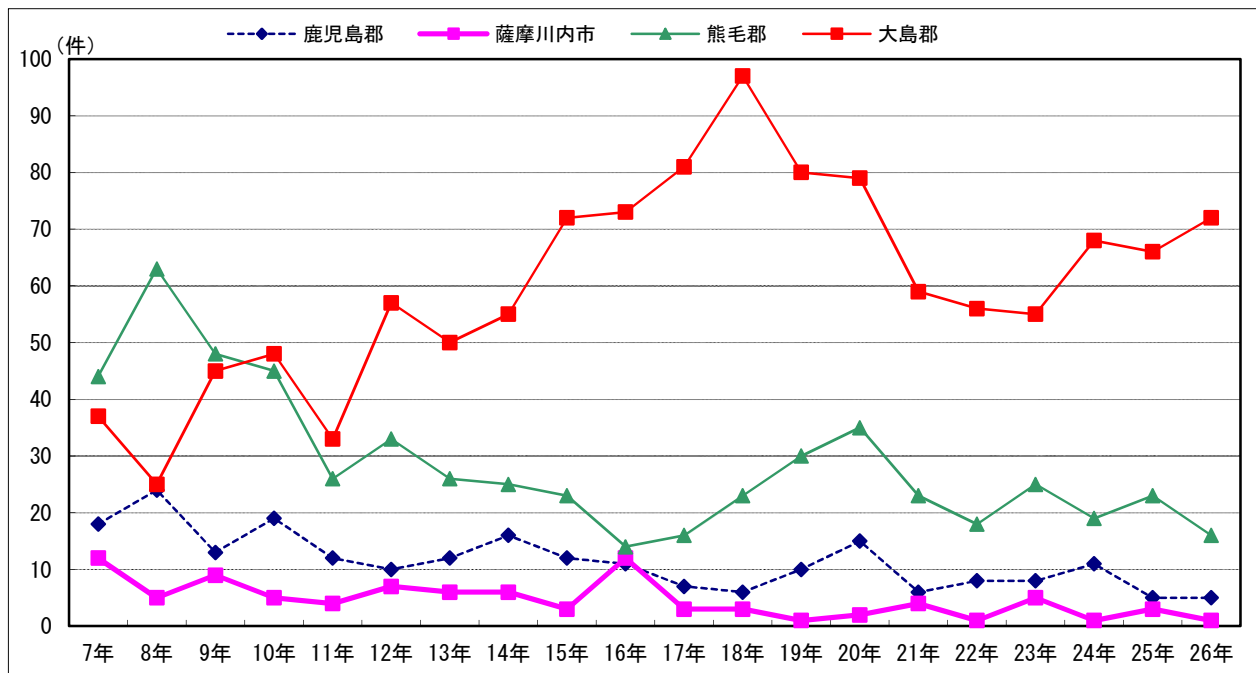


表24 過去20年間の市・郡別災害派遣（急患搬送）出動件数（その2） (年中)

年	郡別	計	鹿児島郡	薩摩川内市	熊毛郡	大島郡	計のうち不搬送件数
平成 7 年		111 (33)	18	12	44	37 (33)	
8		117 (21)	24	5	63	25 (21)	
9		115 (35)	13	9	48	45 (35)	鹿屋1件
10		117 (42)	19	5	45	48 (42)	鹿屋1件
11		75 (27)	12	4	26	33 (27)	鹿屋1件
12		107 (50)	10	7	33	57 (50)	鹿屋2件
13		94 (39)	12	6	26	50 (39)	鹿屋2件
14		102 (45)	16	6	25	55 (45)	鹿屋2件
15		110 (65)	12	3	23	72 (65)	
16		110 (66)	11	12	14	73 (66)	
17		107 (74)	7	3	16	81 (74)	
18		129 (81)	6 (1)	3	23	97 (80)	鹿屋1件
19		122 (57)	11	1	30	80 (57)	鹿屋2件, 沖縄2件
20		132 (63)	16	2	35	79 (63)	鹿屋1件
21		92 (55)	6	4	23	59 (55)	
22		83 (49)	8 (1)	1	18	56 (48)	鹿屋1件, 沖縄2件
23		93 (45)	8	5	25	55 (45)	鹿屋1件, 沖縄1件
24		99 (60)	11	1	19	68 (60)	沖縄1件
25		97 (57)	5	3	23	66 (57)	沖縄1件
26		94 (57)	5	1	16	72 (57)	沖縄1件
計		2,106 (1,021)	230 (2)	93	575	1208 (1019)	沖縄分構成比
構成比率		100.0%	10.9%	4.4%	27.3%	57.4%	(48.5%)

- (注) 1 () 内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
 2 便宜上、熊毛郡には西之表市、大島郡には奄美市をそれぞれ含めている。
 3 平成7年、12年、14年、19年及び20年の鹿児島郡には、各年1件ずつ、離島外からの搬送を含む。

表25 過去20年間の月別及び時間帯別災害派遣（離島急患搬送）出動件数

区分		年別	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
月別	1	11 (4)	8 (1)	9 (2)	10 (2)	5 (1)	12 (8)	8 (5)	5 (2)	5 (2)	10 (6)	
	2	12 (8)	12 (4)	11 (4)	13 (5)	5 (2)	12 (6)	5 (3)	8 (5)	4 (4)	15 (10)	
	3	6 (1)	7 (2)	8 (3)	11 (6)	13 (5)	4 (1)	8 (2)	8 (4)	13 (5)	10 (4)	
	4	7 (1)	7 (2)	15 (9)	13 (4)	4 (3)	6 (3)	5 (2)	2 (1)	8 (5)	9 (5)	
	5	10 (4)	9	8 (2)	8 (3)	9 (4)	9 (6)	6 (1)	11 (3)	11 (9)	7 (6)	
	6	7	7 (1)	7 (1)	9 (7)	2	11 (6)	7 (5)	5 (4)	12 (5)	4 (3)	
	7	8 (2)	13 (1)	7 (2)	11 (6)	11 (5)	7 (4)	6 (3)	13 (7)	9 (5)	7 (4)	
	8	11 (4)	14 (3)	12 (2)	10 (1)	5	9 (4)	8 (2)	7 (4)	5 (3)	4 (2)	
	9	10 (4)	9 (2)	3 (1)	4 (1)	4 (2)	7 (1)	10 (4)	14 (3)	8 (7)	15 (11)	
	10	15 (2)	10 (2)	14 (4)	10 (4)	3 (2)	12 (4)	9 (4)	13 (5)	13 (5)	10 (7)	
	11	7 (2)	5 (1)	8 (1)	3 (1)	6	12 (5)	17 (4)	8 (2)	11 (7)	11 (6)	
	12	7 (1)	16 (2)	13 (4)	15 (2)	8 (3)	6 (2)	5 (4)	8 (5)	11 (8)	8 (2)	
計		111 (33)	117 (21)	115 (35)	117 (42)	75 (27)	107 (50)	94 (39)	102 (45)	110 (65)	110 (66)	
時間帯別	0～2	2	6 (3)	3 (1)	2	4	5 (1)	2 (1)	6	10 (6)	6 (3)	
	2～4	3 (2)	4	3	1 (1)		5 (1)	5 (3)	9 (4)	2 (1)	2 (1)	
	4～6	2	2	5 (2)	4 (2)	1 (1)	10 (8)	6 (1)	3 (1)	2	5 (4)	
	6～8	5 (2)	6	7 (3)	4 (3)	3	4 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (2)	6 (3)	
	8～10	8 (1)	11 (2)	7 (3)	11 (6)	8 (4)	11 (9)	6 (4)	11 (6)	19 (16)	13 (9)	
	10～12	17 (4)	13 (2)	20 (9)	17 (7)	8 (7)	9 (6)	12 (6)	12 (6)	21 (12)	21 (15)	
	12～14	17 (3)	13 (1)	11 (1)	20 (7)	8 (3)	4 (3)	8 (5)	8 (4)	9 (7)	11 (6)	
	14～16	21 (5)	18 (2)	13 (2)	15 (6)	11 (3)	8 (4)	8 (3)	8 (5)	6 (6)	12 (10)	
	16～18	9 (1)	10 (3)	13 (5)	14 (4)	12 (3)	14 (5)	16 (4)	12 (4)	12 (6)	9 (3)	
	18～20	13 (8)	18 (6)	21 (6)	10 (3)	8 (4)	17 (3)	8 (4)	16 (8)	5 (1)	11 (7)	
	20～22	9 (5)	5	8 (2)	14 (2)	8 (2)	10 (2)	9 (3)	9 (4)	14 (5)	9 (3)	
22～24	5 (2)	11 (2)	4 (1)	5 (1)	4	10 (6)	12 (3)	5	7 (3)	5 (2)		

(注) 1 ()内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
 2 「時間帯」は、自衛隊への派遣要請時間である。

(年中)

17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	計
9 (5)	11 (5)	8 (4)	21 (11)	12 (5)	7 (4)	11 (3)	3 (2)	14 (6)	6 (3)	185 (81)
8 (8)	11 (8)	8 (3)	9 (4)	8 (8)	9 (7)	4 (4)	13 (8)	1 (1)	2 (1)	170 (103)
10 (7)	9 (7)	16 (10)	15 (6)	4 (4)	3 (2)	9 (4)	5 (3)	9 (6)	10 (6)	178 (88)
10 (7)	11 (7)	9 (6)	9 (3)	6 (4)	7 (3)	5 (1)	11 (5)	7 (3)	10 (8)	161 (82)
11 (7)	7 (6)	4 (1)	9 (6)	9 (5)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (4)	5 (2)	153 (81)
8 (6)	11 (5)	10 (4)	5 (3)	7 (6)	6 (4)	8 (1)	8 (4)	8 (4)	8 (5)	150 (74)
7 (6)	11 (7)	2 (2)	7 (4)	6 (5)	5 (3)	7 (6)	9 (6)	15 (7)	7 (5)	168 (90)
5 (5)	13 (7)	11 (6)	10 (5)	10 (5)	6 (4)	6 (2)	9 (7)	2 (1)	8 (7)	165 (74)
8 (5)	8 (4)	7 (3)	4 (2)	8 (3)	5 (4)	9 (5)	7 (5)	6 (5)	6 (2)	152 (74)
13 (10)	6 (5)	21 (8)	12 (4)	9 (5)	11 (1)	10 (7)	9 (4)	10 (7)	12 (8)	222 (98)
8 (4)	17 (9)	13 (4)	18 (8)	6 (1)	10 (4)	12 (4)	11 (8)	12 (8)	9 (5)	204 (84)
10 (4)	14 (11)	13 (6)	13 (7)	7 (4)	9 (9)	7 (4)	9 (4)	8 (5)	11 (5)	198 (92)
107 (74)	129 (81)	122 (57)	132 (63)	92 (55)	83 (49)	93 (45)	99 (60)	97 (57)	94 (57)	2106 (1021)
3 (3)	6 (3)	2 (1)	6 (1)	9 (3)	7 (6)	5	8 (5)	5 (4)	8 (5)	105 (46)
4 (2)	3 (2)	2 (1)	4 (2)	2 (1)	3	5 (2)	4 (2)	6 (3)	4 (1)	71 (29)
4 (2)	5 (3)	5 (2)	3 (2)	3 (1)	1 (1)	1	5 (2)	2 (1)	3 (2)	72 (35)
10 (8)	5 (3)	7 (4)	3	2 (1)	1	1 (1)	5 (5)	3 (3)	5 (4)	85 (49)
7 (5)	11 (5)	13 (4)	13 (4)	4 (2)	9 (6)	9 (4)	5 (5)	3 (3)	9 (6)	188 (104)
14 (9)	21 (14)	19 (11)	12 (6)	13 (11)	9 (4)	10 (8)	9 (6)	10 (9)	6 (3)	273 (155)
11 (10)	19 (13)	11 (7)	15 (11)	11 (7)	12 (6)	6 (2)	5 (2)	14 (9)	10 (8)	223 (115)
8 (5)	5 (3)	10 (5)	18 (10)	9 (7)	11 (8)	5 (2)	7 (5)	5 (3)	6 (5)	204 (99)
14 (9)	18 (15)	10 (3)	11 (8)	11 (5)	7 (5)	11 (8)	13 (8)	14 (8)	10 (3)	240 (110)
9 (6)	13 (7)	21 (5)	11 (4)	10 (5)	5 (2)	14 (3)	15 (9)	16 (6)	13 (9)	254 (106)
14 (8)	11 (8)	13 (8)	13 (5)	7 (5)	10 (6)	20 (12)	11 (6)	10 (4)	9 (6)	213 (96)
9 (7)	12 (5)	9 (6)	23 (10)	11 (7)	8 (5)	6 (3)	12 (5)	9 (4)	11 (5)	178 (77)

表26 平成26年中の市町村別搬送人員傷病別内訳

市町村別		傷病別 合 計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
			頭部	その他	頭部	その他						
鹿児島郡	三島村	1					1					
	十島村	4									3	1
薩摩川内市		1										1
熊毛郡 (西之表市含)	西之表市	9	1	1					4	1	2	
	中種子町											
	南種子町											
	屋久島町	7					2				5	
大島郡 (奄美市含)	奄美市	22 (7)		1			1		5 (2)	1	12 (4)	2 (1)
	龍郷町											
	大和村											
	宇検村											
	瀬戸内町											
	喜界町	25 (25)		1 (1)		2 (2)	2 (2)			1 (1)	13 (13)	6 (6)
	徳之島町	10 (10)		3 (3)		1 (1)			3 (3)	1 (1)	2 (2)	
	天城町	2 (2)								1 (1)	1 (1)	
	伊仙町											
	和泊町	3 (3)							2 (2)			1 (1)
	知名町	6 (6)					1 (1)		3 (3)	1 (1)		1 (1)
与論町	3 (3)	1 (1)								1 (1)	1 (1)	
計		93 (56)	2 (1)	6 (4)		3 (3)	7 (3)		17 (10)	6 (4)	39 (21)	13 (10)

(注1) ()内は、沖縄自衛隊搬送人員の内書きである。

(注2) 不搬送1名の傷病者は含まない。

表27 過去20年間の離島急患搬送人員及び傷病別内訳

(年中)

傷病別 年別	計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
		頭部	その他	頭部	その他						
7	115 (33)	1 (1)	3	1	4	35 (12)	10 (5)	10 (5)		49 (10)	2
8	126 (25)	5 (1)	5 (1)		5 (2)	28 (4)	14 (2)	5 (2)	2 (2)	60 (11)	2
9	116 (37)	1 (1)	2 (1)	4 (1)	5 (1)	32 (10)	3 (1)	3 (1)	11 (4)	51 (16)	4 (1)
10	117 (43)	1 (1)	3 (2)		3	33 (11)	2 (1)	10 (6)	6 (1)	52 (18)	7 (3)
11	75 (28)	2	1 (1)	1	1	13 (6)	5 (2)	6 (2)	4	37 (15)	5 (2)
12	106 (51)	3 (2)	1 (1)		2	30 (18)	3 (3)	12 (6)	7 (3)	45 (18)	3
13	92 (39)	1 (1)	2	2 (1)	5 (1)	20 (9)	2 (2)	4 (3)	5 (2)	41 (16)	10 (4)
14	102 (46)	1 (1)	4 (3)		4 (2)	15 (5)	7 (3)	5 (4)	13 (8)	48 (18)	5 (2)
15	110 (66)	2 (1)	2 (1)		4 (1)	30 (15)	3 (1)	12 (11)	10 (9)	38 (22)	9 (5)
16	111 (66)	1 (1)	1 (1)		1	23 (11)	2 (1)	13 (8)	20 (16)	47 (28)	3
17	103 (71)		1			21 (16)	4 (2)	21 (15)	5 (5)	46 (30)	5 (3)
18	126 (79)		4 (4)	1 (1)	2 (1)	24 (9)		29 (20)	11 (7)	51 (35)	4 (2)
19	117 (55)		1 (1)		4 (2)	19 (11)		21 (11)	15 (7)	47 (20)	10 (3)
20	131 (64)	1	1		3 (1)	29 (17)	2 (1)	23 (9)	18 (11)	45 (21)	9 (4)
21	93 (56)	1 (1)	2	2 (1)	1	19 (11)		16 (10)	10 (6)	37 (25)	5 (2)
22	83 (49)	2 (1)	1 (1)			17 (9)	4 (3)	14 (7)	2 (2)	30 (18)	13 (8)
23	94 (46)		1			21 (9)	1 (1)	22 (6)		36 (23)	13 (7)
24	101 (61)	1	5 (2)			18 (10)	2 (1)	13 (5)	5 (5)	46 (32)	11 (6)
25	96 (56)	1 (1)	1		3 (2)	12 (4)		21 (13)	1 (1)	38 (25)	19 (10)
26	93 (56)	2 (1)	6 (4)		3 (3)	7 (3)		17 (10)	6 (4)	39 (21)	13 (10)

(注) ・本表は、鹿屋の海上自衛隊第1航空群及び沖縄の陸上自衛隊第15旅団（内書き）が搬送した人員である。
・不搬送1名の傷病者は含まない。

第4 消防・防災ヘリコプターの活動

1 消防・防災ヘリコプターの導入

県では、大規模災害時における広範な消防防災活動を行うほか、急患搬送、災害危険箇所の調査点検などに幅広く活用するとともに、災害時の被害状況をよりの確かつ迅速に把握するため、消防・防災ヘリコプター「さつま」を導入し、平成10年4月1日、運航拠点となる枕崎空港に防災航空センターを設置するとともに枕崎、指宿、南さつまの3消防組合・本部から派遣された消防職員6名で編成する鹿児島県防災航空隊を発足させた。

なお、平成21年10月1日から、ドクターヘリ導入までの間、消防・防災ヘリの積極的活用として、本土内の救急搬送を開始した。

2 消防・防災ヘリコプターの活動内容

消防・防災ヘリコプターは以下の活動を行うこととしている。

(1) 災害応急対策活動

ア 被災状況等の調査及び情報収集活動

イ 食料、衣料その他の生活必需品及び復旧資材等の救援物資、人員等の搬送

ウ 災害に関する情報、警報等の伝達等広報宣伝活動

エ その他、災害応急対策上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(2) 救急活動

ア 山村、離島等からの救急患者の搬送

イ 傷病者発生地への医師搬送及び医療機材等の搬送

ウ 高度医療機関のない地域からの傷病者の病院搬送

エ 消防・防災ヘリの積極的活用としての本土内搬送

オ その他、救急活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(3) 火災防御活動

ア 林野火災等における空中からの消火活動

イ 被害状況調査及び情報収集活動

ウ 消防隊員、消防資機材等の搬送

エ その他、火災防御活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(4) 救助活動

ア 河川、海等での水難事故、山岳遭難事故等における捜索または救助

イ 高層建築物火災における救助

ウ 山崩れ等の被害により、陸上から接近できない被災者等の救助

エ 高速道路及び自動車専用道路での事故救助

オ その他、救助活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(5) 広域航空消防防災応援活動

ア 県が締結している他県との相互応援協定等による相互応援

(6) 災害予防活動

(7) 自隊訓練のための活動

(8) 各種防災訓練等への参加等

(9) その他知事が必要と認める活動

表28 消防・防災ヘリコプター「さつま」の諸元・性能

型 式	ベル式412EP型
定 員	13名（増槽タンク非装着時15名）
最大全装備重量	5,398kg
空 虚 重 量	3,820kg
有 効 搭 載 量	1,578kg
航 続 距 離	720km
最大巡航速度	259km/h
限界高度	6,096m
全 長	17.1m
全 幅	2.9m
全 高	4.6m
消火用水積載量	1,400ℓ（ドロップタンク）

3 消防・防災ヘリコプターの運航状況

平成26年中における運航件数は198件となった。

過去10年間の推移は下図のとおりであり、救急活動、山岳や海上での捜索、救助活動などの緊急運航や各種防災訓練を行った。

図11 過去10年間の活動状況

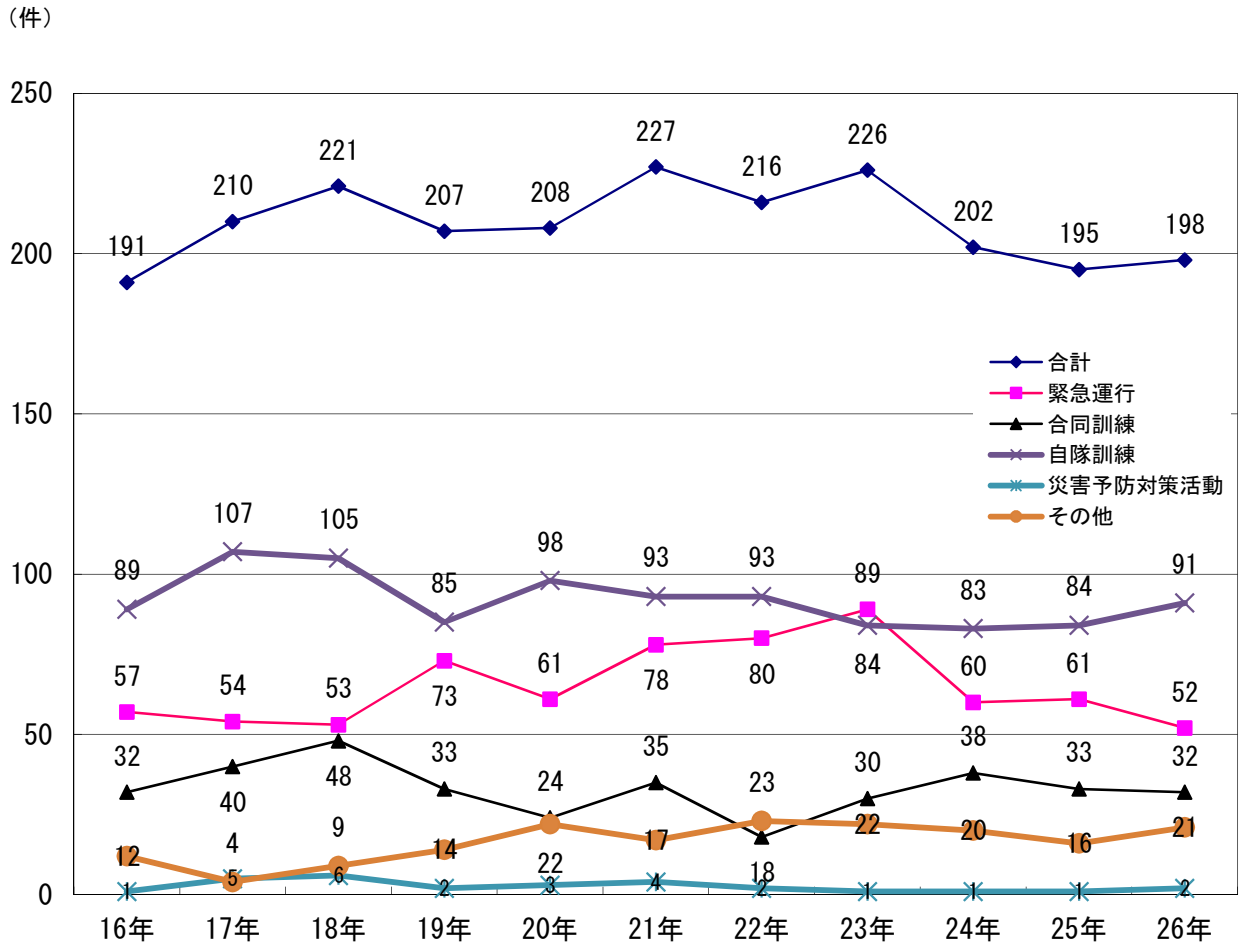


表29 消防・防災ヘリコプターの運航状況

(平成26年)

区分	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	総計	
緊急運航	災害応急対策活動	件数													52件 72時間55分	
		時間														
	救急活動	件数		2			2	1		1	8	7	4	2		27
		時間		2:30			4:20	3:30		1:50	7:20	12:15	3:55	1:05		36:45
	火災防 御活動	件数														
		時間														
	救助活動	件数		1	1	1	2			2	7	4	3	2		23
		時間		1:00	4:00	1:05	2:50			5:50	6:10	8:15	3:35	1:40		34:25
	広域応援	件数									2					2
		時間									1:45					1:45
災害予防活動	件数								2					2	2件	
	時間								4:00					4:00	4時間00分	
合同訓練	他県広域関係	件数										1		1	32件 39時間05分	
		時間										3:10		3:10		
	県市町村関係	件数			2		1			3	9	4	6	1		26
		時間			1:55		1:20			5:55	8:50	5:10	5:45	1:15		30:10
	合同訓練 事前訓練	件数		2			1					2				5
		時間		1:45			1:10					2:50				5:45
自隊訓練	件数		11	16	10	7	1	2	8	9	8	7	12	91	91件	
	時間		15:10	23:20	14:55	9:35	1:10	3:05	9:05	11:15	9:30	7:35	13:55	118:35	118時間35分	
その他	件数	4	4			2	1	1	3		4	2		21	21件	
	時間	4:55	7:30			5:45	1:05	0:40	6:10		7:30	3:40		37:15	37時間15分	
合計	件数	4	20	19	11	15	3	3	19	35	29	23	17	198	198件	
	時間	4:55	27:55	29:15	16:00	25:00	5:45	3:45	32:50	35:20	45:30	27:40	17:55	271:50	271時間50分	

表30 消防・防災ヘリコプターの活動状況（H26年中）

(1) 災害応急対策活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1					
2					
0件 0回 0時間00分					

(2) 救急活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	搬送人員	時 間
1	1	2/10	才	出水市	1	1:45
2	1	2/21	才	鹿児島市	0	0:45
3	1	5/8	ア	屋久島町	1	1:50
4	1	5/26	ア	十島村中之島	1	2:30
5	1	6/4	ア	十島村宝島	1	3:30
6	1	8/25	才	鹿屋市	1	1:50
7	1	9/4	ア	屋久島町	1	1:20
8	1	9/5	才	指宿市	1	0:15
9	1	9/11	才	指宿市	1	0:15
10	1	9/13	ア	西之表市	1	1:15
11	1	9/20	ア	十島村悪石島	1	2:40
12	1	9/22	ア	屋久島町	1	0:35
13	1	9/26	才	霧島市	1	0:50
14	1	9/30	才	指宿市	1	0:10
15	1	10/1	ア	屋久島町	1	1:20
16	1	10/7	才	指宿市	1	0:10
17	1	10/18	ア	十島村中之島	1	2:00
18	1	10/20	ア	十島村口之島	1	2:05
19	1	10/20	ア	徳之島	1	4:30
20	1	10/23	才	出水市	1	1:30
21	1	10/30	ア	屋久島町	2	0:40
22	1	11/4	ア	屋久島町	1	0:05
23	1	11/4	ア	屋久島町	1	0:40
24	1	11/15	才	霧島市	1	0:25
25	1	11/17	才	鹿児島市	1	2:45
26	1	12/22	才	南大隅町	1	0:35
27	1	12/31	才	肝付町	1	0:30
27件 27回 36時間45分						

(3) 火災防御活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
0件 0回 0時間00分					

(4) 救助活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	2/21	ア	南さつま市(水難捜索)	1:00
2	2	3/31	ア	南さつま市(水難捜索)	4:00
3	1	4/27	ア	枕崎市(水難捜索)	1:05
4	1	5/9	ア	屋久島町(山岳捜索)	2:10
5	1	5/25	ア	霧島市(山岳救助)	0:40
6	1	8/4	ア	奄美市(水難捜索)	3:50
7	1	8/27	ア	長島町(水難捜索)	2:00
8	1	9/5	ア	指宿市(山岳救助)	0:20
9	1	9/11	ア	指宿市(山岳救助)	0:20
10	1	9/22	ア	屋久島町(山岳救助)	1:00
11	1	9/23	ア	霧島市(山岳救助)	0:55
12	1	9/26	ア	霧島市(山岳救助)	1:00
13	1	9/28	ア	志布志市(水難捜索)	2:20
14	1	9/30	ア	指宿市(山岳救助)	0:15
15	1	10/7	ア	指宿市(山岳救助)	0:15
16	2	10/9	ア	鹿児島市(水難捜索)	4:00
17	2	10/10	ア	鹿児島市(水難捜索)	3:00
18	1	10/30	ア	屋久島町(山岳救助)	1:00
19	1	11/4	ア	屋久島町(山岳捜索・救助)	1:40
20	1	11/15	ア	霧島市(山岳救助)	0:55
21	1	11/25	ア	西之表市(水難捜索)	1:00
22	1	12/22	ア	南大隅町(水難救助)	0:55
23	1	12/31	ア	肝付町(水難救助)	0:45
23件 26回 34時間25分					

(5) 広域航空消防防災応援活動

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	9/1	ア	宮崎県(救助)	1:10
2	1	9/1	ア	宮崎県(救急)	0:35
2件 2回 1時間45分					

(6) 各種防災訓練等への参加等

件数	回数	月 日	訓練内容	訓練名及び実施場所	時 間
1	1	3/3	救助	日置市春季火災予防運動合同訓練	0:50
2	1	3/5	火災防御	鹿児島市山林火災防御訓練	1:05
3	1	5/23	情報収集・SV救助	鹿児島県総合防災訓練	1:10
4	1	8/7	ドロップタンク消火	3機関合同航空機救出救助訓練	0:50
5	1	8/30	DMAT搬送・救急搬送	平成26年度広域医療搬送訓練	1:25
6	1	8/31	SV救助	瀬戸内町総合防災訓練	3:40
7	1	9/2	消防隊員投入訓練	熊毛地区消防組合連携活動訓練	1:35
8	1	9/7	救援物資輸送	南さつま市防災訓練	0:25
9	1	9/7	エバック救助	南九州市総合防災訓練	0:25
10	1	9/11	猿ヶ城溪谷救助ポイント確認	垂水市消防本部山岳救助訓練	1:10
11	1	9/14	航空担架救助	霧島市消防局山岳救助訓練	1:35
12	1	9/17	リベリング降下・消防隊員投入訓練	国際消防救助隊救助活動訓練	1:20
13	1	9/21	ドロップタンク消火	枕崎市総合防災訓練	0:10
14	1	9/25	パーティカル担架救助	鹿児島市消防局(南署)山岳救助訓練	0:45
15	1	9/29	消防隊員投入訓練・パーティカル担架救助	指宿南九州消防組合防災ヘリ連携訓練	1:25
16	1	10/2	RS救助	さつま町消防本部水難救助訓練	1:10
17	1	10/21	被災地情報収集訓練	国際消防救助隊救助活動訓練	1:00
18	1	10/30	消防隊員投入訓練・航空担架救助	大隅曾於地区消防組合防災ヘリ連携訓練	1:40
19	1	10/31	消防隊員投入訓練・航空担架救助	鹿児島市消防局山岳救助連携訓練	1:30
20	1	11/5	救急搬送	鹿児島県国民保護実動訓練	0:20
21	1	11/6	消防隊員投入訓練	消防学校救助課連携訓練	1:10
22	1	11/7	船舶からのエバック救助	海上災害事故対応合同訓練	0:40
23	1	11/9	情報伝達訓練・SV救助	いちき串木野市総合防災訓練	1:00
24	1	11/16	被害状況調査・SV救助・エバック救助	東串良町津波避難訓練	1:05
25	1	11/19	消防隊員投入訓練	大隅肝属地区消防組合連携活動訓練	1:30
26	1	12/9	航空担架救助	鹿児島市山岳救助活動訓練	1:15
26件 26回 30時間10分					